

令和元年度 財政状況資料集

総括表 (市町村)

都道府県名	島根県	市町村類型	II-O	指定団体等の指定状況		区分	令和元年度(千円)	平成30年度(千円)	区分	令和元年度(千円・%)	平成30年度(千円・%)				
				財政健全化等	×										
市町村名	飯南町	地方交付税種地	2-1	財源超過	×	歳入総額	8,518,347	8,043,940	実質収支比率	1.8	2.1				
				首都	×	歳出総額	8,389,336	7,907,983	経常収支比率	95.2	94.7				
				近畿	×	歳入歳出差引	129,011	135,957	(※1)	(97.8)	(98.2)				
					×	翌年度に繰越すべき財源	54,441	49,202	標準財政規模	4,115,056	4,097,191				
人口	平成27年国調(人)	5,031	産業構造(※5)	中部	×	実質収支	74,570	86,755	財政力指数	0.14	0.14				
	平成22年国調(人)	5,534		過疎	○	単年度収支	-12,185	-12,681	公債費負担比率	23.9	24.6				
	増減率(%)	-9.1		山振	○	積立金	0	0	健全化判断比率						
住民基本台帳人口(※7)	令02.01.01(人)	4,800	区分	平成27年国調	平成22年国調	低開発	×	積立金取崩し額	0	0	連結実質赤字比率	-	-		
	うち日本人(人)	4,760	第1次	621	588	指数表選定	○	実質単年度収支	155,418	135,617	実質公債費比率	11.3	10.8		
	平31.01.01(人)	4,898		第2次	23.4	21.3			基準財政収入額	522,326	517,130	資金不足比率(※4)			
	うち日本人(人)	4,861	第3次		521	588			基準財政需要額	3,877,465	3,789,008				
	増減率(%)	-2.0		第3次	19.7	21.3			標準税収入額等	642,430	638,447				
	うち日本人(%)	-2.1	第3次		1,507	1,584			経常経費充当一般財源等	3,986,964	3,943,551				
	面積(km ²)	242.88			56.9	57.4			歳入一般財源等	4,847,403	4,940,585				
人口密度(人/km ²)	21														
世帯数(世帯)	1,842														
職員の状況															
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	10,544,572	9,924,801				
	市区町村長	1	7,300		一般職員	91	281,190	3,090	うちの公的資金	8,084,058	7,366,191				
	副市区町村長	1	6,200		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	150,789	127,600				
	教育長	1	5,600		うち技能労務職員	4	12,608	3,152	収益事業収入	-	-				
	議会議長	1	2,980		教育公務員	1	*	*	土地開発基金現在高	116,092	116,092				
	議会副議長	1	2,460		臨時職員	-	-	-	財政調整基金	620,121	620,121				
	議会議員	8	2,050		合計	92	285,138	3,099	減債基金	953,229	950,362				
					ラスパイレ指数			98.8		その他特定目的基金	1,724,673	1,744,311			
一般会計等の一覧	会計名	事業会計の一覧	会計名	公営企業(法適)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧	項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	項番	団体名	(※3)
(1) 一般会計		(2) 国民健康保険事業特別会計		(5) 飯南病院事業会計						(8) 雲南市・飯南町事務組合					
		(3) 後期高齢者医療事業特別会計		(6) 簡易水道事業会計						(9) 島根県市町村総合事務組合					
		(4) 介護保険サービス事業特別会計		(7) 下水道事業会計						(10) 雲南広域連合(普)					
										(11) 雲南広域連合(介護)					
										(12) 雲南広域連合(公共下水)					
										(13) 島根県後期高齢者医療広域連合(普)					
										(14) 島根県後期高齢者医療広域連合(後期高齢)					

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補償債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補償等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)					地方税の状況 (単位 千円・%)					歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	超過課税分	区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
地方税	486,758	5.7	446,340	10.9	普通税	486,758	100.0	166,126	166,126	議会費	61,362	0.7	-	61,362	
地方譲与税	88,103	1.0	88,103	2.2	法定普通税	486,758	100.0	166,126	166,126	総務費	2,209,389	26.3	1,104,239	678,038	
利子割交付金	451	0.0	451	0.0	市町村民税	161,152	33.1	5,546	5,546	民生費	1,217,511	14.5	39,372	796,948	
配当割交付金	1,257	0.0	1,257	0.0	個人均等割	7,438	1.5	-	-	衛生費	759,531	9.1	2,409	681,708	
株式等譲渡所得割交付金	607	0.0	607	0.0	所得割	122,565	25.2	-	-	労働費	-	-	-	-	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	16,967	3.5	2,751	2,751	農林水産業費	774,643	9.2	299,248	217,309	
地方消費税交付金	88,269	1.0	88,269	2.2	法人税割	14,182	2.9	2,795	2,795	商工費	313,359	3.7	4,327	236,270	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	固定資産税	289,763	59.5	160,580	160,580	土木費	1,060,139	12.6	716,108	372,219	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	280,592	57.6	160,580	160,580	消防費	244,361	2.9	33,276	175,858	
自動車取得税交付金	7,181	0.1	7,181	0.2	軽自動車税	18,334	3.8	-	-	教育費	449,057	5.4	94,111	313,505	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	17,509	3.6	-	-	災害復旧費	97,792	1.2	-	25,629	
自動車税環境性能割交付金	1,728	0.0	1,728	0.0	鉱産税	-	-	-	-	公債費	1,202,202	14.3	-	1,159,546	
地方特例交付金等	9,276	0.1	9,276	0.2	特別土地保有税	-	-	-	-	諸支出金	-	-	-	-	
個人住民税減収補填特例交付金	1,620	0.0	1,620	0.0	法定外普通税	-	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	
自動車税減収補填特例交付金	-	-	-	-	目的税	-	-	-	-	歳出合計	8,389,336	100.0	2,293,090	4,718,392	
軽自動車税減収補填特例交付金	-	-	-	-	法定目的税	-	-	-	-	性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
子ども・子育て支援臨時交付金	7,656	0.1	7,656	0.2	入湯税	-	-	-	-	区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
地方交付税	3,793,053	44.5	3,362,763	82.5	事業所税	-	-	-	-	義務的経費計	2,627,334	31.3	2,254,948	2,045,829	48.8
普通交付税	3,362,763	39.5	3,362,763	82.5	都市計画税	-	-	-	-	人件費	869,176	10.4	797,392	756,336	18.1
特別交付税	430,290	5.1	-	-	水利地益税等	-	-	-	-	うち職員給	514,233	6.1	473,156	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	法定外目的税	-	-	-	-	扶助費	556,344	6.6	298,398	297,938	7.1
(一般財源計)	4,476,683	52.6	4,005,975	98.2	旧法による税	-	-	-	-	公債費	1,201,814	14.3	1,159,158	991,555	23.7
交通安全対策特別交付金	655	0.0	655	0.0	合計	486,758	100.0	166,126	166,126	元利償還金	1,201,549	14.3	1,158,893	991,290	23.7
分担金・負担金	95,098	1.1	-	-	徴収率	98.9	97.6	99.3	97.8	うち元金	1,160,729	13.8	1,118,073	950,470	22.7
使用料	79,155	0.9	29,440	0.7	(%)	99.1	98.2	99.5	98.4	うち利子	40,820	0.5	40,820	40,820	1.0
手数料	8,787	0.1	75	0.0	市町村民税	99.1	98.2	99.5	98.4	一時借入金利子	265	0.0	265	265	0.0
国庫支出金	829,598	9.7	-	-	純固定資産税	98.8	97.0	99.2	97.4	その他の経費	3,371,120	40.2	2,325,147	1,941,135	46.3
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	合計	992,246	4.8	4,822	4,822	物件費	966,663	11.5	655,081	443,281	10.6
都道府県支出金	547,649	6.4	-	-	病院	335,222	1.5	-16,824	-16,824	維持補修費	101,865	1.2	66,693	41,128	1.0
財産収入	33,151	0.4	3,920	0.1	下水道	269,755	1.2	638	638	補助費等	1,731,241	20.6	1,255,095	1,154,319	27.6
寄附金	157,652	1.9	-	-	簡易水道	95,956	0.4	979	979	うち一部事務組合負担金	389,810	4.6	319,810	317,487	7.6
繰入金	212,124	2.5	-	-	介護サービス	6,256	0.0	83	83	繰出金	298,233	3.6	257,917	237,185	5.7
繰越金	135,957	1.6	-	-	国民健康保険	50,061	0.2	-	-	積立金	193,329	2.3	25,139	-	-
諸収入	161,338	1.9	38,389	0.9	国民健康保険	50,061	0.2	-	-	投資・出資金・貸付金	79,789	1.0	65,222	65,222	1.6
地方債	1,780,500	20.9	-	-	その他	234,996	0.5	408	408	前年度繰上充用金	-	-	-	-	
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-	合計	992,246	4.8	4,822	4,822	投資的経費計	2,390,882	28.5	138,297	-	-
うち臨時財政対策債	109,800	1.3	-	-	公営事業等への繰出	992,246	4.8	4,822	4,822	うち人件費	-	-	-	-	
歳入合計	8,518,347	100.0	4,078,454	100.0	国民健康保険事業会計の状況	992,246	4.8	4,822	4,822	普通建設事業費	2,293,090	27.3	112,668	-	-
					実質収支	992,246	4.8	4,822	4,822	うち補助	1,651,900	19.7	56,938	-	-
					再差引収支	335,222	1.5	-16,824	-16,824	うち単独	580,440	6.9	52,780	-	-
					加入世帯数(世帯)	269,755	1.2	638	638	災害復旧事業費	97,792	1.2	25,629	-	-
					被保険者数(人)	95,956	0.4	979	979	失業対策事業費	-	-	-	-	
					被保険者	6,256	0.0	83	83	歳出合計	8,389,336	100.0	4,718,392	-	-
					1人当り	50,061	0.2	-	-						
					保険税(料)収入額	50,061	0.2	-	-						
					国民健康保険	50,061	0.2	-	-						
					保険給付費	234,996	0.5	408	408						

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和元年度 島根県南町

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	8,518	8,389	129	75	212	10,545	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298							

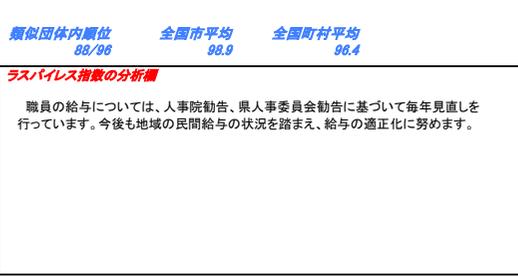
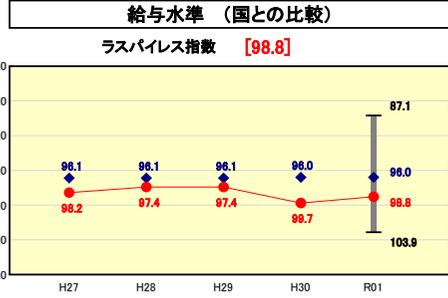
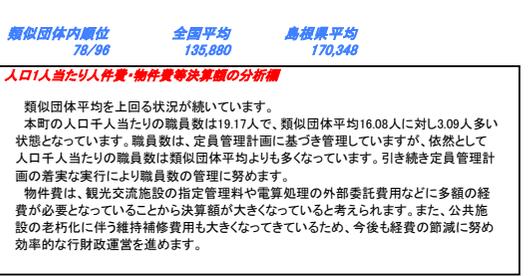
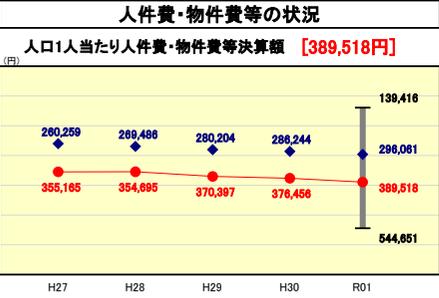
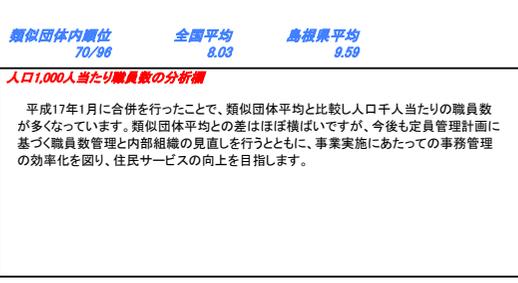
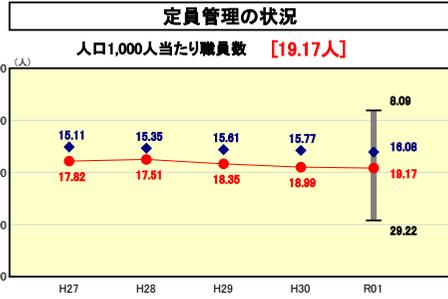
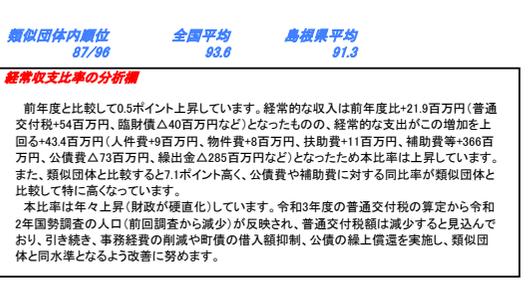
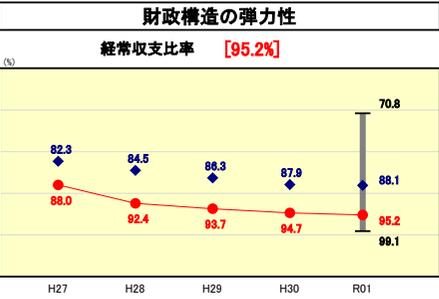
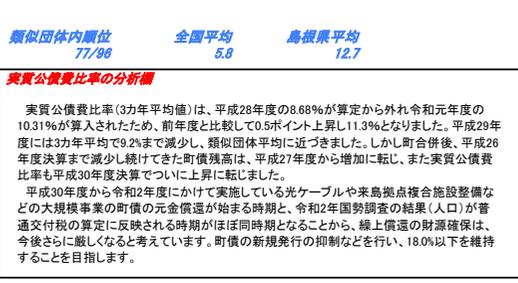
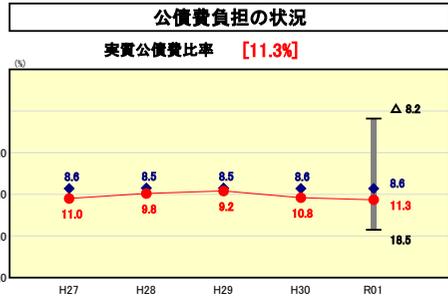
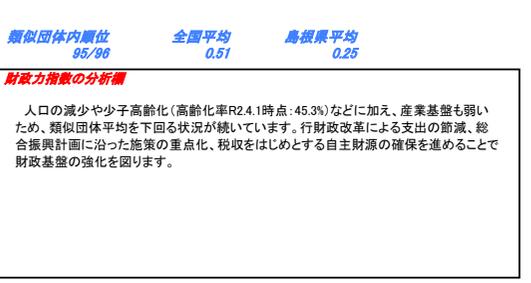
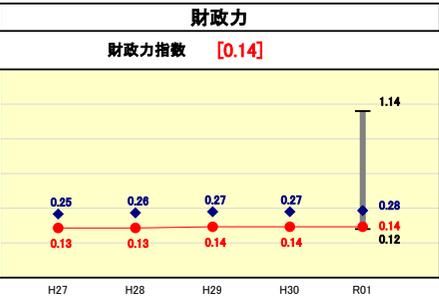
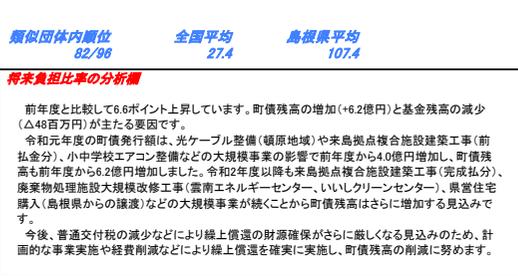
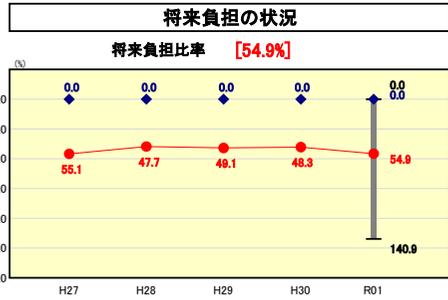
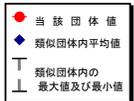
(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

令和元年度

島根県飯南町

人口	4,800人	(R2.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	4,760人	(R2.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	242.88	km ²	実質公債費比率	11.3	%
歳入総額	8,518,347	千円	将来負担比率	54.9	%
歳出総額	8,389,336	千円	市町村類型	H27 II-O H28 II-O H29 II-O	
実収支	74,570	千円	(年度毎)	H30 II-O R01 II-O	
標準財政規模	4,115,056	千円			
地方債現在高	10,544,572	千円			

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和元年度

鳥根県飯南町

経常収支比率の分析

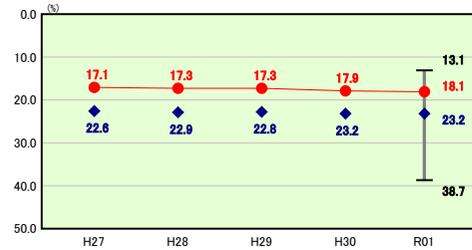
人口	4,800	人(R2.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	4,760	人(R2.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	242.88	km ²	実質公債費比率	11.3	%
歳入総額	8,518,347	千円	将来負担比率	54.9	%
歳出総額	8,389,336	千円	市町村類型	H27 II-O H28 II-O H29 II-O	
実質収支	74,570	千円	(年度毎)	H30 II-O R01 II-O	
標準財政規模	4,115,056	千円			
地方債現在高	10,544,572	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

人件費

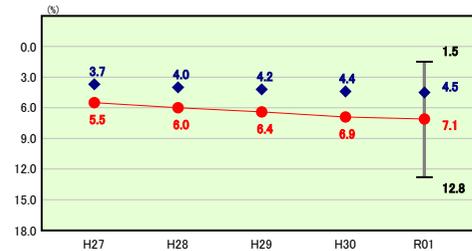
類似団体内順位 7/96 全国平均 25.6 鳥根県平均 22.7



人件費の分析欄
 類似団体よりも比率が低くなっていますが、公債費に係る比率が類似団体を大きく上回っている影響を受けていることが要因として考えられます。人件費に係る人口千人当たりの歳出額で比較すると、類似団体を上回る状態となっています。
 これまでも定員管理計画に基づく職員数管理などにより人件費の抑制に努めていますが、今後も適正な職員数管理を行います。

扶助費

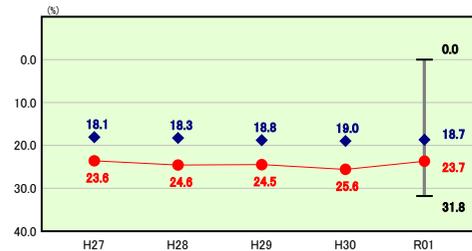
類似団体内順位 84/96 全国平均 13.1 鳥根県平均 10.0



扶助費の分析欄
 類似団体平均を上回る状況が続いています。平成18年1月1日に福祉事務所を設置したことにより、生活保護費や介護老人ホームに係る老人保護措置費などが類似団体よりも高くなっていることが要因として考えられます。また、児童福祉関係では、保育所運営費(委託費)が増加しています。扶助費全体について、全国平均の推移を見ても、今後も比率の上昇が見込まれます。

公債費

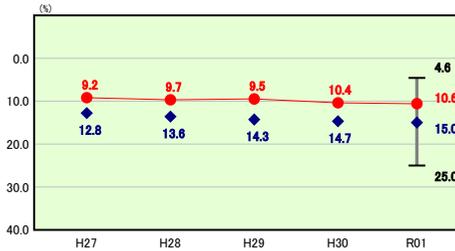
類似団体内順位 87/96 全国平均 16.5 鳥根県平均 23.6



公債費の分析欄
 類似団体平均を上回る状況が続いています。合併前後に道路や上下水道施設などの社会基盤整備を集中的に行ってきたほか、近年は、新庁舎や防災行政無線、拠点複合施設整備など大規模事業の財源として町債を借り入れ、返済費用が大きくなっていることが理由として考えられます。令和元年度は前年度と比較して1.9ポイント低下していますが、これは平成30年度に実施した繰上償還による令和元年度の元利償還金の減少額が44百万円あり、これが大きく寄与していると考えられます。
 繰上償還の効果で、町合併時と比較すると、公債費は減少していますが、依然として比率は高い状態で推移しており、引き続き繰上償還の実施や新規発行額を抑制し、町債残高の削減を図ります。

物件費

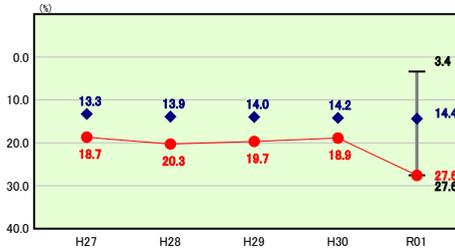
類似団体内順位 8/96 全国平均 15.0 鳥根県平均 12.5



物件費の分析欄
 公債費に係る比率が類似団体を大きく上回っているため、物件費に対する比率が低くなっています。しかし、人口1人当たりの物件費の支出額で比較すると、類似団体平均を上回っています。支出額で類似団体を上回る主な要因として、住民情報や税務・財政関係の電算処理を外部へ委託していることや、指定管理を行っている観光施設交流館などが多いことなどが考えられます。

補助費等

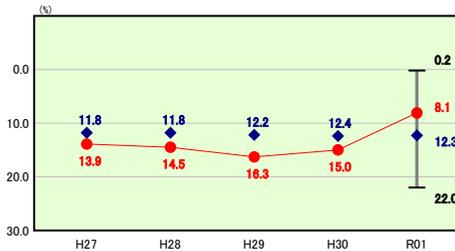
類似団体内順位 96/96 全国平均 10.3 鳥根県平均 9.5



補助費等の分析欄
 前年度と比較すると8.7ポイントの大きな上昇となっており、これは令和元年度から簡易水道事業と下水道事業を法適用公営企業会計に移行したことに伴い、これまで各会計に繰出金として支出していた経費が補助金に振り替わったためです(簡水:96百万円、下水:263百万円)。しかし上記理由を差し引いても類似団体を上回る状況は続いており、一部事務組合で実施している業務が比較的多いこと、各団体等への補助金が多額になっていることが要因と考えられます。
 簡水・下水道会計への補助は、原則、基準に基づき行っていますが、人口減少による料金収入の減少や維持管理費の増加により、赤字補填的な額も増えています。法適用公営企業会計に移行したこともふまえ、一層の独立採算性が求められます。一般会計の負担を減らしていくためにも、経費の節減や料金改定などを進める必要があると考えます。

その他

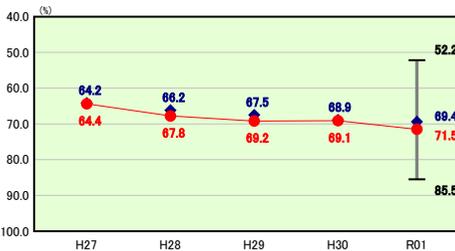
類似団体内順位 12/96 全国平均 13.1 鳥根県平均 13.0



その他の分析欄
 繰出金と出資金に対する比率は7.3%で前年度から6.6ポイント減少しています。上の補助費等にも記載したとおり、簡易水道・下水道事業の法適用公営企業会計への移行に伴い、繰出金が補助金に振り替わったことによるものです。したがって、ここに計上される繰出金は、国民健康保険事業特別会計と後期高齢者医療事業特別会計に対するものとなり、出資金は病院事業会計に対するものとなります。
 維持補修費は昨年同値の1.0%となっています。

公債費以外

類似団体内順位 59/96 全国平均 77.1 鳥根県平均 67.7



公債費以外の分析欄
 前年度と比較して2.4ポイント上昇しています。公債費に係る比率が減少したことで、公債費以外の比率が上昇したと考えられます。また公債費に係る比率が類似団体を大きく上回っているため、公債費以外に対する比率は類似団体と近い比率となっています。
 今後、町債残高の減少とともに公債費も減少していくと見込んでいますが、それに伴い公債費以外に係る比率が増大していくことも考えられます。全国的に増加している扶助費や老朽化している公共施設の維持補修費等、増大が見込まれる要素もあるため、総合振興計画等に沿った施策の重点化に努めることで、財政の確実化を防ぐ行財政運営を進めます。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和元年度

島根県飯南町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

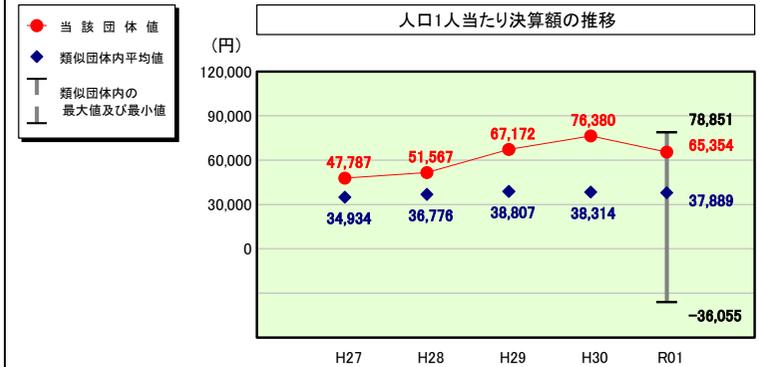
	当該団体決算額		人口1人当たり決算額	
	(千円)	当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	869,176	181,078	140,211	29.1
賃金 (物件費)	54,247	11,301	17,469	▲ 35.3
一部事務組合負担金 (補助費等)	155,853	32,469	23,430	38.6
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	35,060	7,304	2,927	149.5
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	13,427	2,797	6,472	▲ 56.8
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	-	-	3,599	-
▲退職金	▲ 68,016	▲ 14,170	▲ 14,458	▲ 2.0
合計	1,059,747	220,781	179,649	22.9

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	19.17	16.08	3.09
ラスバイレス指数	98.8	96.0	2.8

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

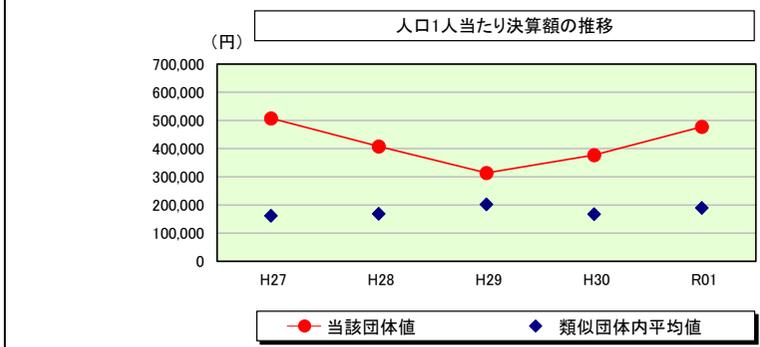


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額		人口1人当たり決算額	
	(千円)	当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,034,211	215,461	107,391	100.6
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	130	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還に相当するもの (年度割相当額)	-	-	239	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	350,636	73,049	23,019	217.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	12,362	2,575	3,575	▲ 28.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	3,307	689	750	▲ 8.1
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	17	-
▲特定財源の額	▲ 15,457	▲ 3,220	▲ 4,961	▲ 35.1
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,071,361	▲ 223,200	▲ 92,273	141.9
合計	313,698	65,354	37,889	72.5

※令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H27	2,621,149	507,778	78.1	162,193	▲ 7.7	85.8
うち単独分	773,431	149,832	48.1	79,985	▲ 8.8	56.9
H28	2,074,014	408,030	▲ 19.6	168,868	▲ 4.1	▲ 23.7
うち単独分	1,316,301	258,961	72.8	79,360	▲ 0.8	73.6
H29	1,573,237	313,769	▲ 23.1	202,870	20.1	▲ 43.2
うち単独分	628,758	125,400	▲ 51.6	79,735	0.5	▲ 52.1
H30	1,847,701	377,236	20.2	167,497	▲ 17.4	▲ 37.6
うち単独分	550,447	112,382	▲ 10.4	82,571	3.6	▲ 14.0
R01	2,293,090	477,727	26.6	190,274	13.6	13.0
うち単独分	580,440	120,925	7.6	88,584	7.3	0.3
過去5年間平均	2,081,838	416,908	16.4	178,340	2.5	13.9
うち単独分	769,875	153,500	13.3	82,047	0.4	12.9

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

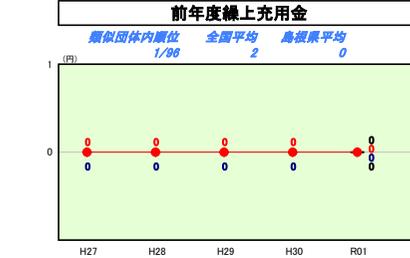
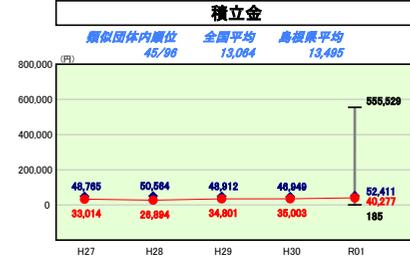
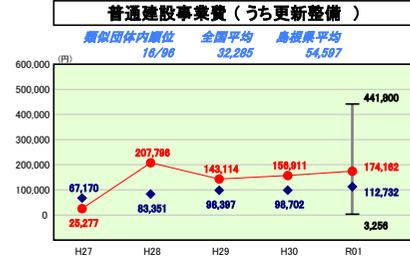
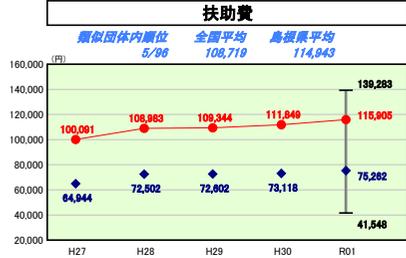
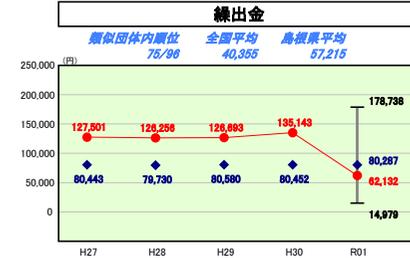
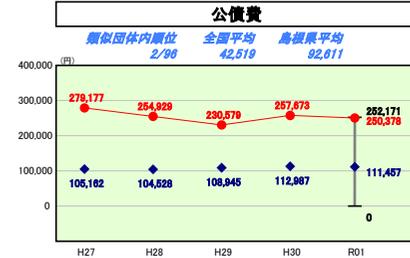
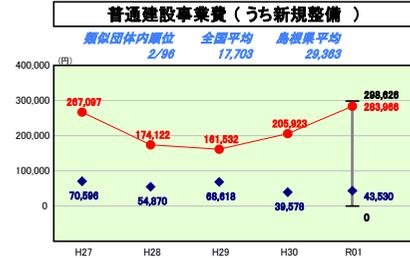
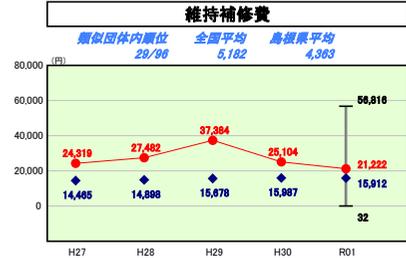
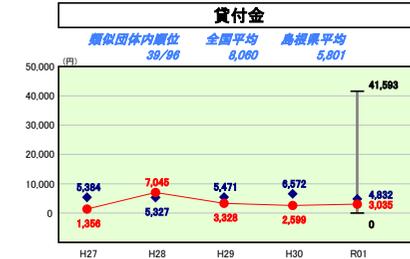
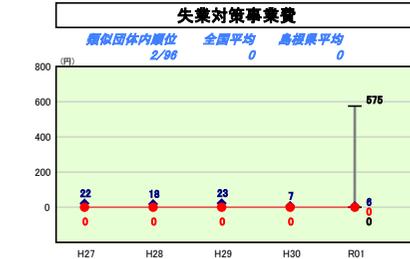
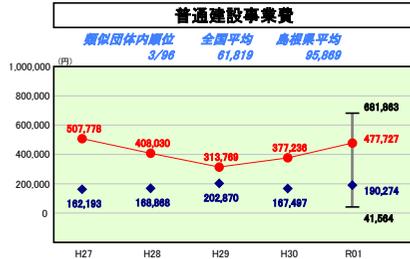
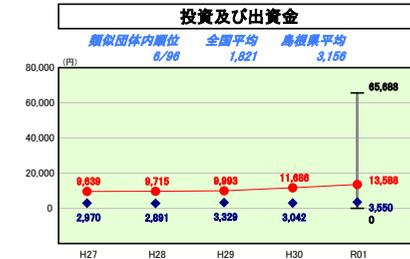
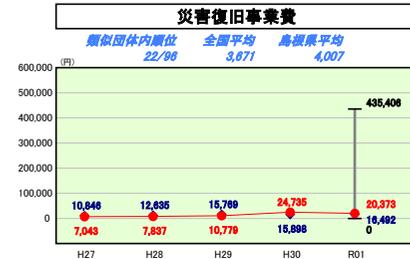
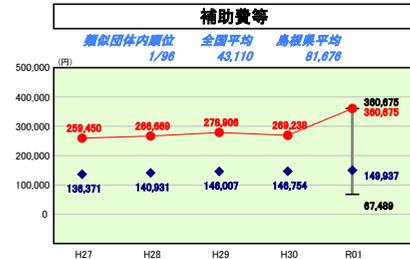
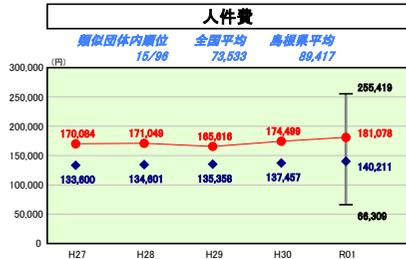
令和元年度

鳥根県飯南町

人口	4,800人(2.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	4,780人(2.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%
面積	242.88km ²	実質公債費比率	11.3	%
歳入総額	8,518,347千円	実質負担比率	54.9	%
歳出総額	8,389,336千円	市町村類型	H27 II-O H28 II-O H29 II-O	
実質収支	74,570千円	(年度毎)	H30 II-O R01 II-O	
標準財政規模	4,115,056千円			
地方債現在高	10,544,572千円			

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- └ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同グループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析概

住民1人当たりの歳出決算総額は約175万円で、平成30年度の約161万円から増加しており大部分の項目で類似団体平均を超えています。公債費(借金の返済費用)は、繰上償還の効果で年々減少してきているものの、類似団体平均の約2.2倍、住民一人当たり約25万円でワースト2位となっています。※類似団体内で比較すると住民一人当たりの負担額が2番目に大きいです。

普通建設事業費は、前年度から住民一人当たり約10万円負担が増加、類似団体と比較すると2.5倍の負担となっています。特に新規整備については、嶺南地域の光ケーブル(約6.4億円)、米島拠点複合施設(3.1億円)、小中学校エアコン(約70万)などの整備が影響しています。これらの整備にかかる資金は町債を発行して賄っていますが、大規模な事業を一定期間集中して実施すると、その町債の返済費用(公債費)が、施設整備後数年後から集中して負担となるため、他の事業を実施するための費用を圧迫することになり世代間で不公平を生じることになります。今後、大規模な事業を実施する際は、時期や規模、必要性を十分に検討し、適切に判断しなければならぬと考えます。

補助費等の大幅な増加、繰出金の大幅な減少は、簡易水道事業と下水道事業の法適用公営企業会計への移行に伴い、各会計に支払っていた経費の種類が繰出金から補助金に変更となったためです。人員費は、類似団体平均に比べ、人口一人当たりの職員数が多いことにより、高い値となっています。今後も定員管理計画に基づき職員数の管理に努めます。扶助費は子ども等医療費助成、障がい福祉、老人保護措置費、保育所運営に要する費用に多額の費用がかかっており、住民一人当たりのコストが大きくになっています。事業の見直しや統合、補助金審査等による事業の選択、効率化を図り、経費の削減に努めます。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

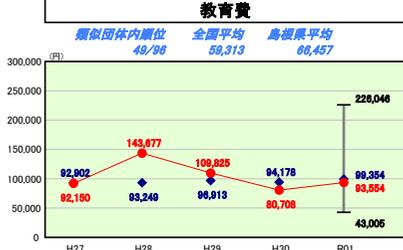
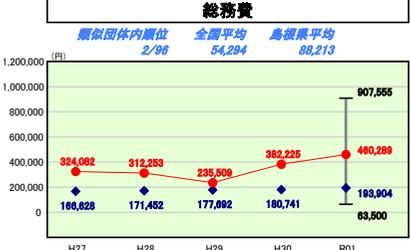
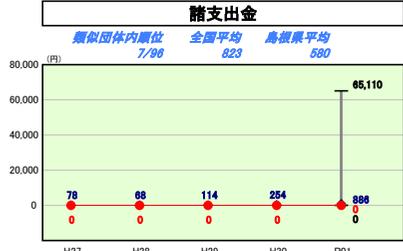
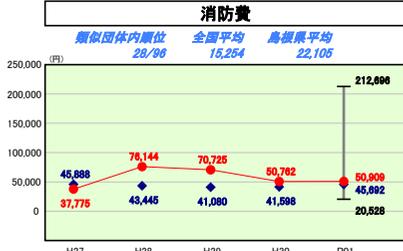
令和元年度

鳥根県飯南町

人口	4,800人(仮2.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	4,780人(仮2.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%
面積	242.88km ²	実質公債費比率	11.3	%
歳入総額	8,518,347千円	特措負担比率	54.9	%
歳出総額	8,389,336千円	市町村類型	H27 II-O H28 II-O H29 II-O	
実質収支	74,570千円	(年度毎)	H30 II-O R01 II-O	
標準財政規模	4,115,056千円			
地方債現在高	10,544,572千円			

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ⊥ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析概

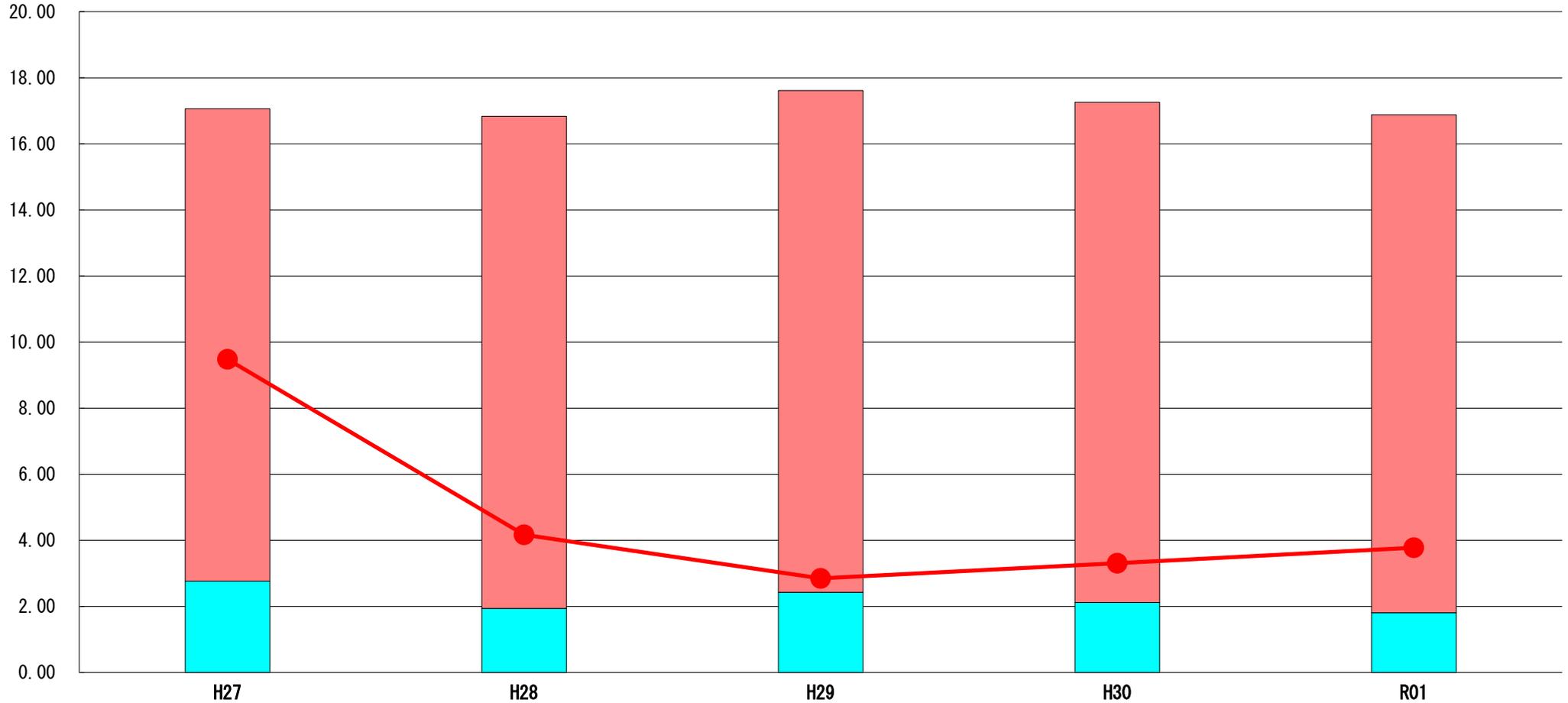
消防費・・・平成28年度と平成29年度が大きくなっているのは、防災行政無線の整備によるものです。令和2年度は消防操法練習場の整備により再び増加する見込みです。
 総務費・・・平成28年度に新庁舎が完成したため平成29年度は減少していますが、平成30年度から令和元年度にかけては、光ケーブルや来島拠点複合施設の整備の一部を令和2年度に繰り越しており、引き続きコストが高い状態が続きます。
 民生費・・・年々扶助費が増加しており、これに伴って増加傾向にあります。今後もこの傾向は続くと思われま。令和2年度は、障がい福祉施設整備に係る補助金(58百万円)を支出するためさらに増加する見込みです。
 商工費・・・平成28年度と平成29年度が大きくなっているのは、琴引スキー場人口降雪機整備や酒づくり交流館改修によるものです。平成30年度以降は平成並みとなっていますが、観光交流施設の指定管理料に多額の費用を要しており、類似団体平均の約2.3倍、県内平均の約3.1倍の金額になっています。
 衛生費・・・雲南エネルギーセンターの大規模改修(事務組合への負担金37百万円)、簡易水道事業会計補助金の増加によるものです。
 土木費・・・新規改良路線が37キロと、平成30年度からの継続事業が多数あったためコストが高い状態が続いています。令和2年度は衣掛団地3号棟の整備、令和3年度には県営住宅購入や古城団地改修が控えており、さらにコストは高くなる見込みです。
 公債費・・・平成29年度まではこれまでの繰上償還の効果で値は改善されてきました。令和元年度は平成30年度に行った繰上償還の効果で減少しましたが、基本的にはカントリーエレベーターや光ケーブル等の大規模建設事業の元金償還が始まっていくため増加傾向が続くと見えています。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和元年度

島根県飯南町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H27	H28	H29	H30	R01
 財政調整基金残高		14.29	14.89	15.18	15.14	15.07
 実質収支額		2.77	1.94	2.43	2.12	1.81
 実質単年度収支		9.48	4.17	2.85	3.31	3.78

分析欄

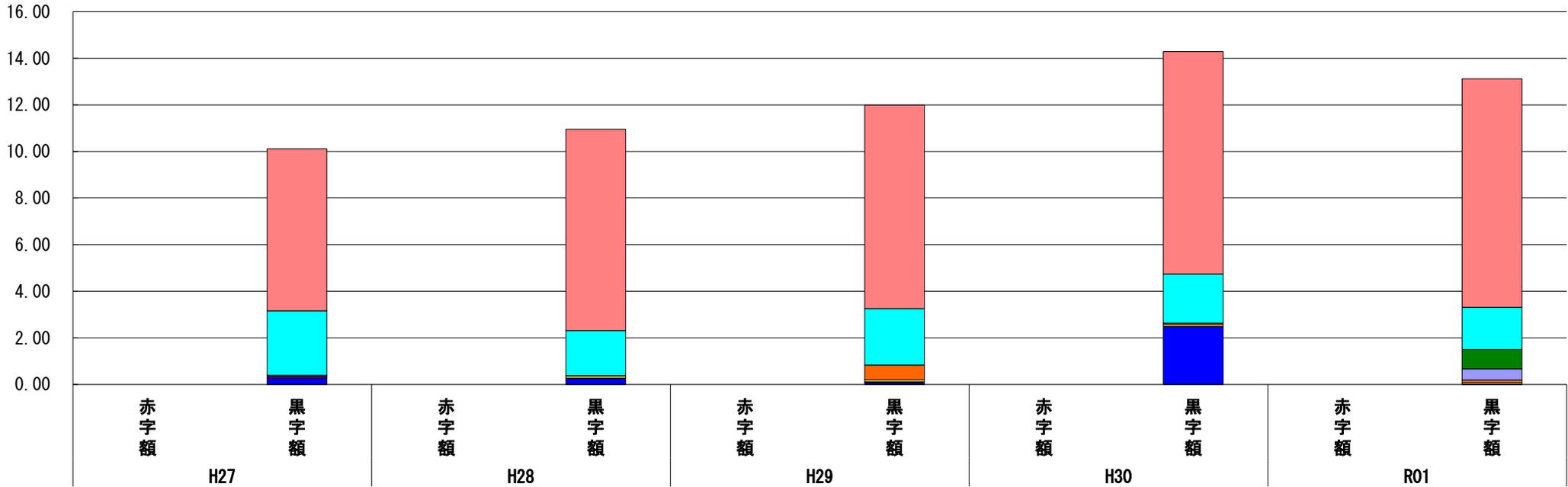
- 財政調整基金残高・・・基金残高の増減はありません。前年度と比較して標準財政規模が17.9百万円増加（標準税収入額等+4.0百万円、普通交付税+53.5百万円、臨時財政対策債発行可能額△39.6百万円）したことからわずかに低下しています。
- 実質収支額・・・前年度と比較して実質収支額が12.2百万円減少、標準財政規模が17.9百万円増加したことなどから低下しています。
- 実質単年度収支・・・前年度と比較して単年度収支が0.5百万円の微減となったほか、繰上償還額も19.3百万円減少したため実質単年度収支は19.8百万円減少しました。そのため比率は上昇しています。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

令和元年度

島根県飯南町

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H27	H28	H29	H30	R01
飯南病院事業会計		6.96	8.64	8.73	9.55	9.81
一般会計		2.77	1.93	2.43	2.11	1.81
下水道事業会計		-	-	-	-	0.83
簡易水道事業会計		-	-	-	-	0.48
国民健康保険事業特別会計		0.00	0.01	0.63	0.07	0.11
介護保険サービス事業特別会計		0.02	0.10	0.09	0.08	0.07
後期高齢者医療事業特別会計		0.10	0.02	0.03	0.00	0.01
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		0.27	0.25	0.08	2.48	-

分析欄

いずれの会計も黒字決算となっています。

一般会計では、平成20年度以降平成29年度までは、町債の繰上償還を実施しても財政調整基金と減債基金を取り崩さない財政運営ができるなど収支改善が進んでいましたが、平成30年度は収支不足から減債基金3千万円を取り崩して決算しました。令和元年度は繰越事業において余剰財源が生まれたため、両基金を取り崩すことなく決算できています。

また、町の歳入の約半分を占める普通交付税の町合併に伴う加算措置が、令和元年度で終了しました。国の法律改正等もあり普通交付税額は想定よりも減っていませんが、令和2年国勢調査の影響を受ける令和3年度の普通交付税の算定以降、厳しい状況となる可能性があります。今後はさらなる経費の削減等を行い、健全な行財政運営を維持する必要があります。

簡易水道事業会計と下水道事業会計は、令和元年度から法適用公営企業会計に移行したため、平成30年度以前の数値はその他会計に含んでいます。

国民健康保険事業特別会計の平成28年度から平成29年度にかけての比率の上昇は、平成29年度に県から交付された療養給付費負担金交付金の超過交付分を、平成30年度に精算還付する必要があり、その財源とするため翌年度繰越額を2千6百万円（平成28年度は0.5百万円）となるよう調整したため比率が大きくなっています。

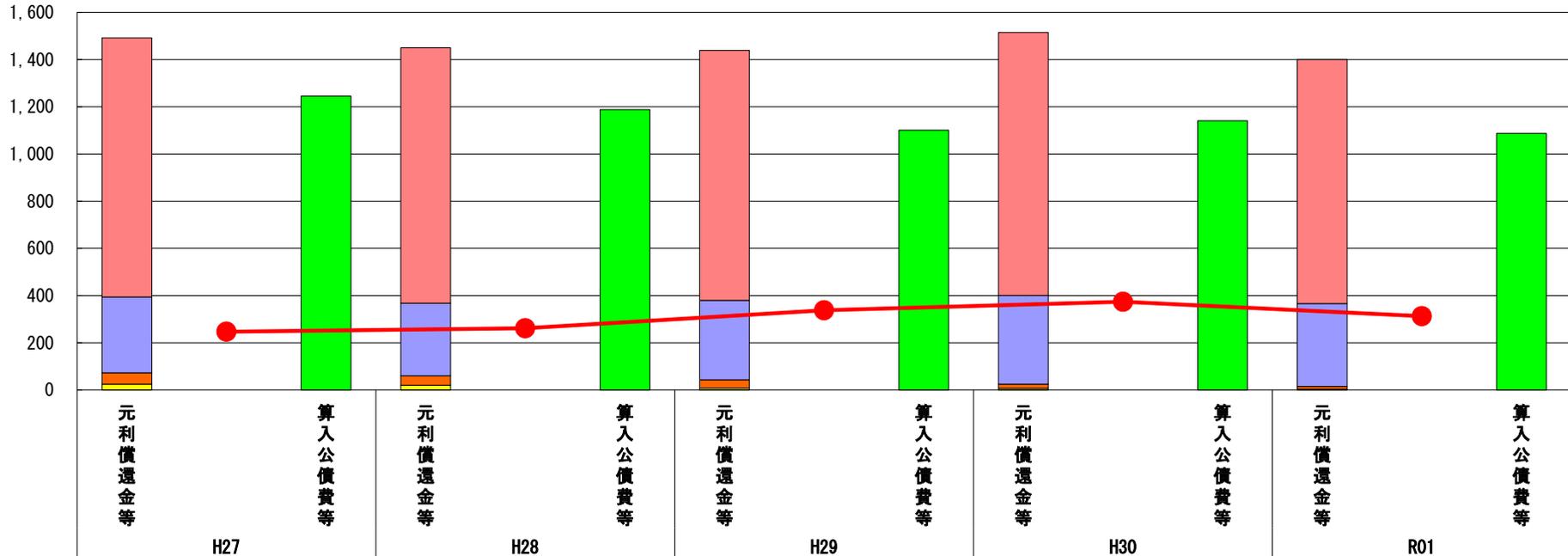
※令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和元年度

島根県飯南町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H27	H28	H29	H30	R01
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,098	1,082	1,059	1,114	1,034
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		321	308	337	376	351
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		48	40	35	18	12
	債務負担行為に基づく支出額		25	20	8	7	3
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,245	1,188	1,101	1,141	1,087
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		247	262	338	374	313

分析欄

平成30年度に行った繰上償還の効果（44百万円）などもあり、元利償還金は8千万円減少しました。しかし今後は、カントリーエレベーターや庁舎建設、光ケーブル、拠点複合施設、防災行政無線整備などの大規模事業の償還が重なるため、「元利償還金」は基本的には増加傾向にあると考えています。また合併前後に集中的に行った上下水道施設の整備に対する特別会計への補助（公営企業債の元利償還金に対する繰入金）が高い水準で推移しています。

町債残高は、町合併から平成26年度決算まで減少してきましたが、平成27年度以降増加に転じています。また光ケーブルや来島拠点複合施設の整備などの大規模事業の実施により、町債の年間償還額は、令和11年度までに令和元年度決算額から最大1.1億円増加する見込みです。（R2中期財政計画）

R2中期財政計画では、3カ年平均の実質公債費比率は令和8年度決算を除き、令和11年度まで18%を超えない推計ですが、今後も計画的な繰上償還や新規発行額の抑制を行い、比率上昇の要因となる元利償還金の削減に努めます。

※1 令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。

(参考)

(百万円)

		年度	H26末	H27末	H28末	H29末	H30末
※2 減債基金積立状況等	減債基金残高(注)						
	減債基金積立相当額						

分析欄

該当なし

(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。

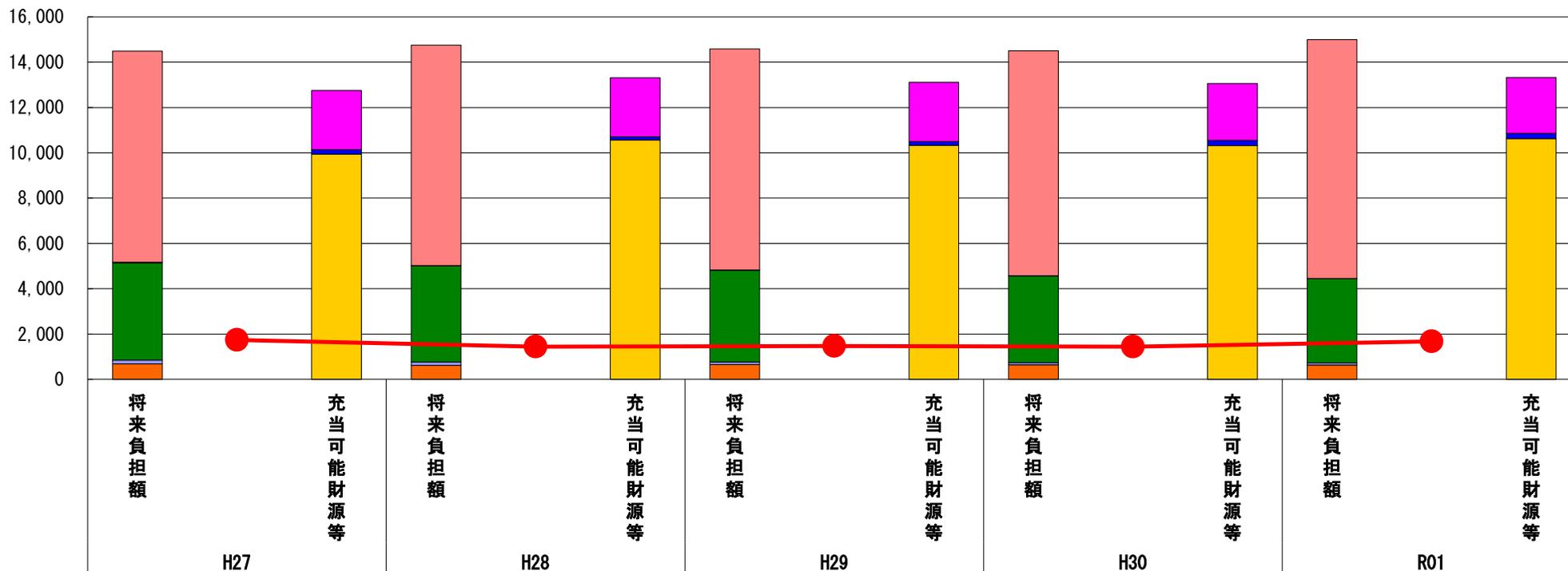
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和元年度

島根県飯南町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H27	H28	H29	H30	R01
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		9,316	9,732	9,757	9,925	10,545
	債務負担行為に基づく支出予定額		31	16	9	5	1
	公営企業債等繰入見込額		4,289	4,236	4,052	3,832	3,723
	組合等負担等見込額		169	148	114	99	92
	退職手当負担見込額		680	620	653	638	632
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		2,614	2,611	2,616	2,510	2,462
	充当可能特定歳入		186	137	165	232	233
	基準財政需要額算入見込額		9,947	10,564	10,330	10,316	10,624
(A) - (B)	将来負担比率の分子		1,737	1,442	1,473	1,442	1,674

分析欄

町合併以降、繰上償還の効果で「一般会計等に係る地方債の現在高」は確実に減少し、平成24年度末に100億円を下回りました。しかし平成27年度以降、カントリーエレベーターや新庁舎、防災行政無線、頓原拠点複合施設などの大型建設事業の実施に伴い多額の町債を発行したため、平成27年度以降、町債残高は増加に転じています。令和元年度末では、光ケーブルや来島拠点複合施設の整備などの大規模事業の影響を受けて、町債残高は100億円を超えました。しばらくは100億円を超える水準が続くと見込んでいます。

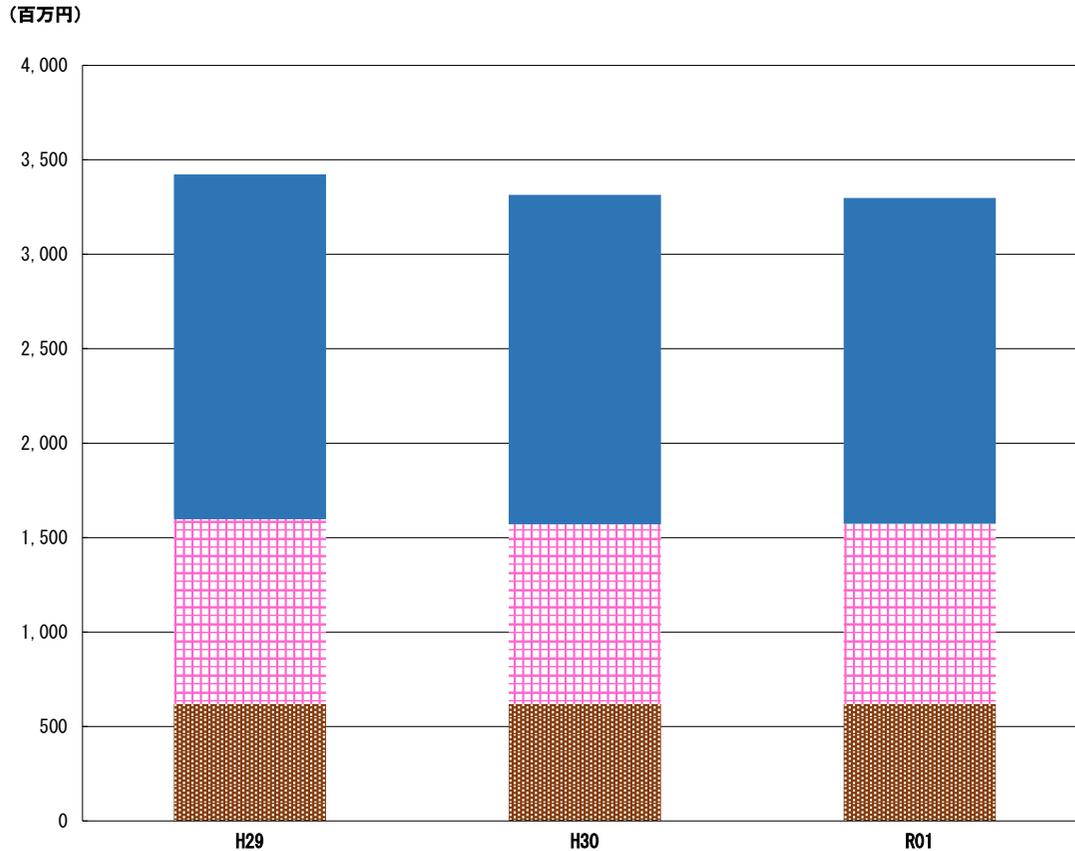
今後も計画的に繰上償還を実施すること、償還額以上の町債を発行しないなど町債の新規発行の抑制を行うことで、将来負担比率を上昇させる要因の「一般会計等に係る地方債の現在高」の確実な縮減に努めます。

「充当可能基金」のうち特定目的基金については、各施策の財源として適宜取り崩して有効に活用しました。また財政調整基金と減債基金は、平成30年度は減債基金を3千万円取り崩しましたが、令和元年度においては取り崩さずに財政運営を行いました。

国債・定期預金などの安全な手法での運用を引き続き行っていほか、災害などの緊急時に備えた総額の確保、普通交付税の減額などによる将来の財政需要にも備えていきます。

※令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



区分	年度	H29	H30	R01
財政調整基金		620	620	620
減債基金		977	950	953
その他特定目的基金		1,826	1,744	1,725
まちづくり基金		1,193	1,133	1,133
ふるさと応援基金		162	195	220
福祉基金		91	91	88
ふるさとの森管理基金		124	103	82
自然環境保全対策基金		104	91	79
基金残高合計		3,424	3,315	3,298

令和元年度

島根県飯南町

基金全体

(増減理由)
 国債等の有価証券として19億円を運用するなどして運用益16.9百万円を積み立てたほか、ふるさと応援寄附金により1.5億円の積み立て、ダム関係の交付金により7.9百万円の積み立て、バス更新負担金により0.8百万円の積み立て、森林環境譲与税により7.2百万円を積み立てました。また新たに「飯南町みらい人材育成基金」を創設し1千万円を積み立てました。
 基金全体としては、約1億9千3百万円を積み立てましたが、2億1千10万円を取り崩して必要な事業に活用したため基金総額が減少しています。

(今後の方針)
 国債等の有価証券で、運用益を生み出しながら、必要な事業に活用していきます。

財政調整基金

(増減理由)
 増減はありません。

(今後の方針)
 現時点では積み立ては行わない方針です。
 人口減少により交付税、税収ともに減少していくことが予想されるため、今後は取り崩す可能性がありますが、本基金は大規模災害時や新型コロナウイルス感染症対策など、緊急的に資金が必要な場合に重要な財源となるため、少なくとも現在の基金額は確保していく方針です。

減債基金

(増減理由)
 国債等運用益を2.9百万円積み立てています。

(今後の方針)
 国債等の運用益の積み立てを行いながら、将来の公債費の削減のために必要な額は取り崩し活用していきます。

その他特定目的基金

(基金の用途)
 ①まちづくり基金・・・町民の連帯の強化及び地域振興
 ②ふるさと応援基金・・・ふるさと納税の寄附金を積み立て、まちづくりに活用する
 ③福祉基金・・・社会福祉に関する町民の自主的な活動を促進する
 ④ふるさとの森管理基金・・・飯南町ふるさとの森の管理運営に要する財源を確保し、森林を活用した健康の増進と休養に資する事業を行う
 ⑤自然環境保全対策基金・・・本町の自然環境を後世に伝え、町民の健康で快適な生活環境を確保するための機能の維持と保全を行う

(増減理由)
 ①・・・増減なし
 ②・・・寄附金の増加により基金残高も増加した。
 ③・・・町民の自主的な活動を支援する交付金を交付するために取り崩した。
 ④・・・ふるさとの森の管理運営のために必要な経費を取り崩した。
 ⑤・・・彩りの森（志津見）の除草や植栽もみじの維持管理などのために必要な経費を取り崩した。

(今後の方針)
 ①・・・果実運用益を生み出すことを主体とする。
 ②・・・ふるさと応援寄附金を積み立て、まちづくりに活用していく。
 ③・・・社会福祉に関する町民の自主的な活動の促進のために活用していく。
 ④・・・ふるさとの森の管理運営に活用していく。
 ⑤・・・彩りの森（志津見）の除草や植栽もみじの維持管理などのために活用していく。

(12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

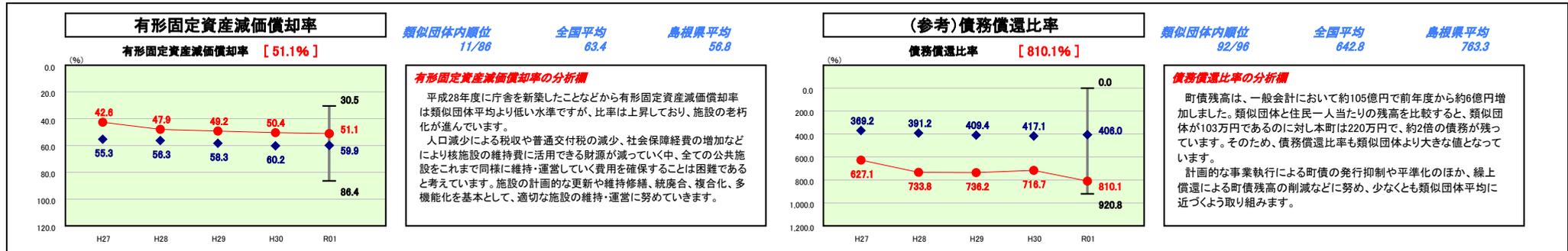
令和元年度

鳥根県飯南町

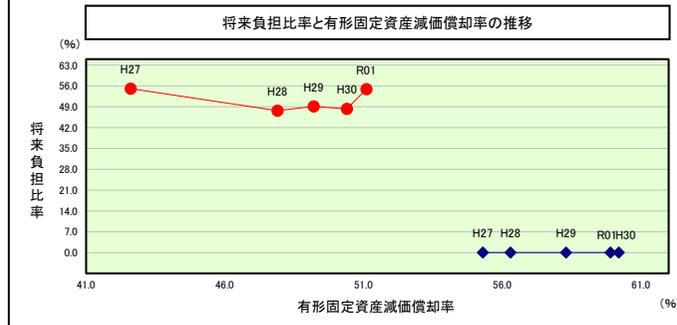
人口	4,800人 (R2.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	4,760人 (R2.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	242.88km ²	実質公債費比率	11.3%
歳入総額	8,518,347千円	将来負担比率	54.9%
歳出総額	8,389,336千円	市町村類型	H27 II-O H28 II-O H29 II-O
実質収支	74,570千円	(年度毎)	H30 II-O R01 II-O
標準財政規模	4,115,056千円		
地方債現在高	10,544,572千円		



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還比率、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。
- ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



分析欄

類似団体平均と比較すると、将来負担比率は類似団体平均より高く、有形固定資産減価償却率は類似団体平均より低い状況です。

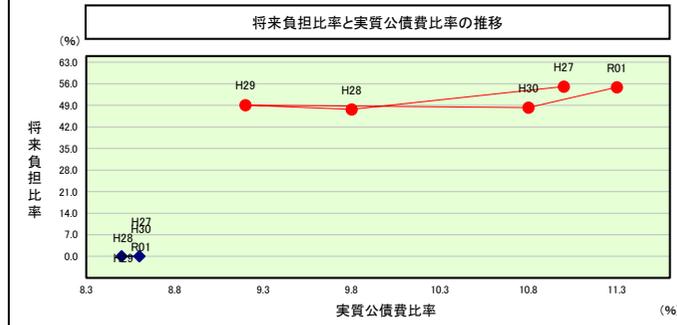
令和元年度は、光ケーブル等の大規模な建設事業の実施のために発行した町債が元利償還額(返済額)を大きく上回り、町債残高が前年度から約6億円増加したことなどから、将来負担比率が上昇(悪化)しました。

基本的には、今後、本指標はグラフ右下に向かって推移していくものと考えますが、公共施設の計画的な更新や統廃合、複合化、多機能化を進めることにより、有形固定資産減価償却率の上昇をできる限り抑えながら、新規に発行する町債の抑制や繰上償還による町債残高の削減などにより将来負担の削減に努めていきます。

(参考)

		H27	H28	H29	H30	R01
当該団体値	将来負担比率	55.1	47.7	49.1	48.3	54.9
	有形固定資産減価償却率	42.6	47.9	49.2	50.4	51.1
類似団体内平均値	将来負担比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	有形固定資産減価償却率	55.3	56.3	58.3	60.2	59.9

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



分析欄

将来負担比率は50%付近で推移していますが、実質公債費比率は平成30年度決算から上昇(悪化)に転じています。

平成30年度から令和元年度にかけては光ケーブルの整備を、令和2年度には来島拠点複合施設の建築工事を実施しているため町債残高はさらに増加する見込みで、引き続き繰上償還を実施していかなければ面比率とも上昇(悪化)する見込みです。

今後とも計画的な事業実施による町債の発行抑制や平準化、繰上償還により町債残高を削減することで、両指標の改善に努めていきます。

(参考)

		H27	H28	H29	H30	R01
当該団体値	将来負担比率	55.1	47.7	49.1	48.3	54.9
	実質公債費比率	11.0	9.8	9.2	10.8	11.3
類似団体内平均値	将来負担比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実質公債費比率	8.6	8.5	8.5	8.6	8.6

(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

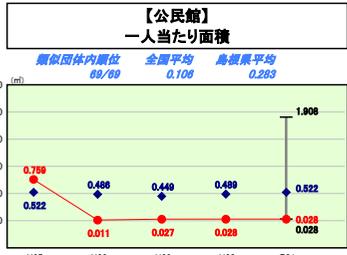
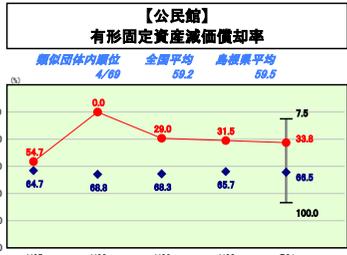
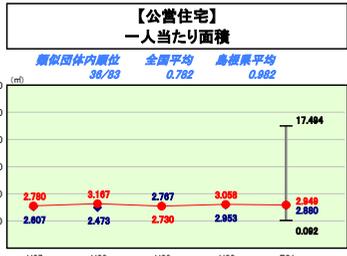
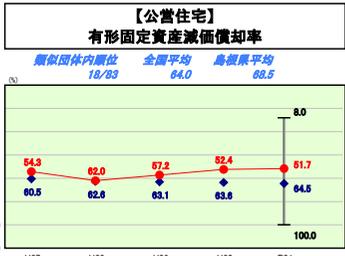
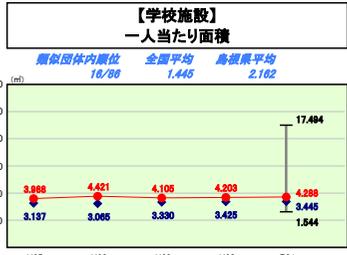
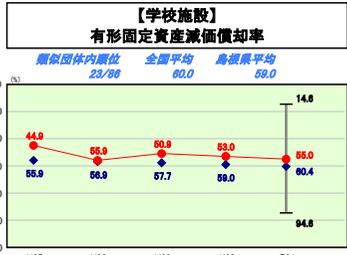
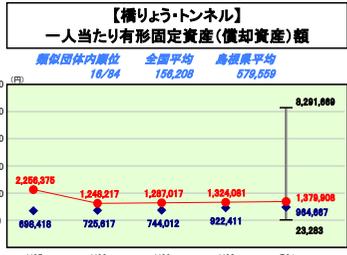
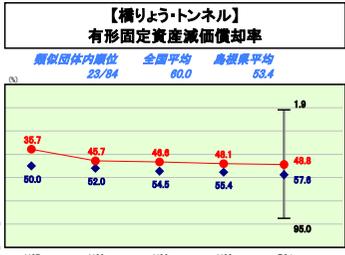
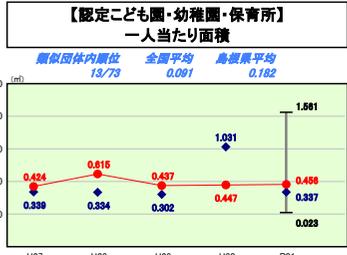
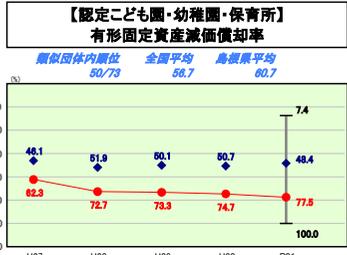
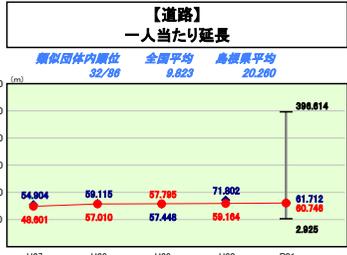
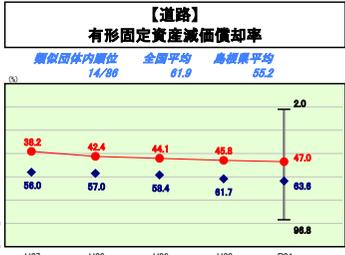
令和元年度

島根県飯南町

人口	4,800	人(R2.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	4,760	人(R2.1.1現在)	連続実質赤字比率	-	%
面積	242.88	km ²	実質公債費比率	11.3	%
入居総額	8,518,347	千円	将来負担比率	54.9	%
出居総額	8,389,336	千円	市町村類型	H27 II-O H28 II-O H29 II-O	
実収支	74,670	千円	(年度毎)	H30 II-O R01 II-O	
標準財政規模	4,115,058	千円			
地方債残高	10,544,572	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答があった団体に関するもの。



施設情報の分析値

- 有形固定資産減価償却率
 - ・・・公営住宅を除き、その他の項目は上昇(老朽化)しています。また保育所を除き類似団体平均を下回っています。保育所については、4施設が建設後30年を経過しています。大規模な修繕も生じており、計画的な修繕や更新に向けての検討が必要だと考えます。(桜台保育所[H8]、来島保育所[S62]、さつき保育所[S58]、赤名保育所[S56]) 公営住宅は、平成27年度から令和2年度にかけて衣掛団地の更新を進めているため、償却率が低下しています。公民館は、平成28年度に旧生涯学習センター(解体済み)から駅前拠点複合施設(交流センターとんぼろ)内に移設したことから、償却率が低下しています。
- 一人当たり有形固定資産(償却資産)額
 - ・・・橋梁・トンネルに関する額が類似団体平均と比較して大きくなっていますが、中山間地域であり大小河川が多数あることから、それに伴い橋梁も多くなっていることなどが要因と考えられます。

(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

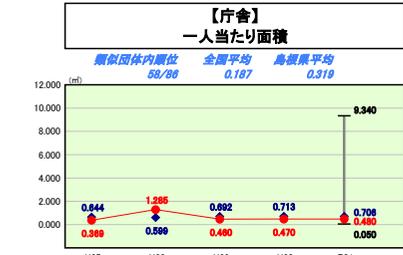
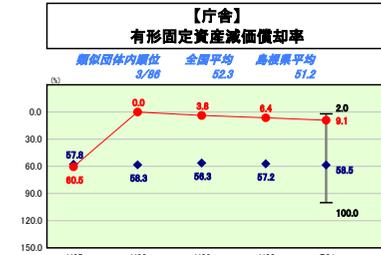
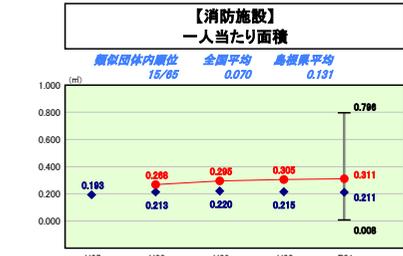
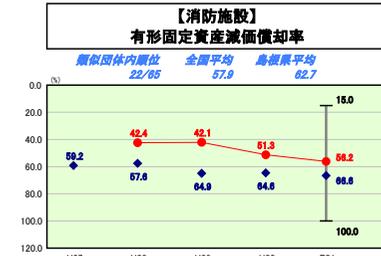
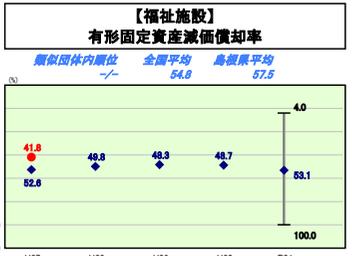
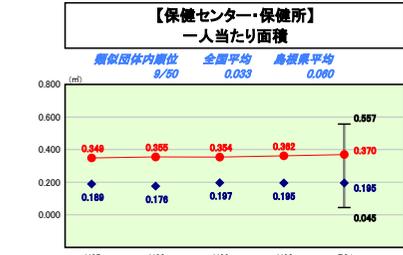
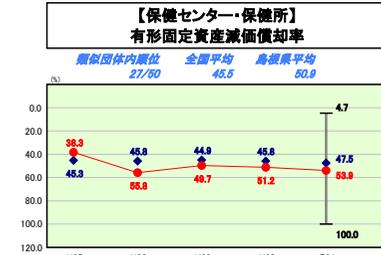
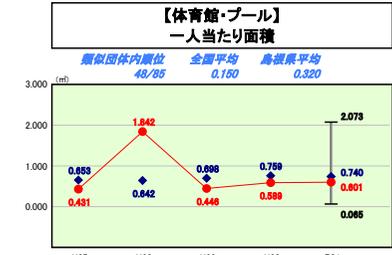
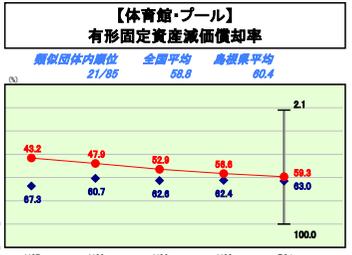
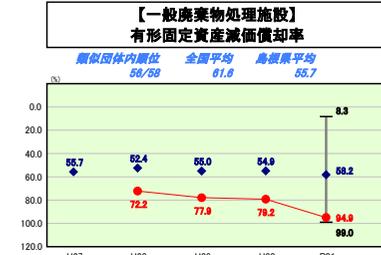
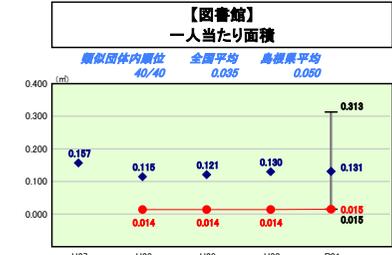
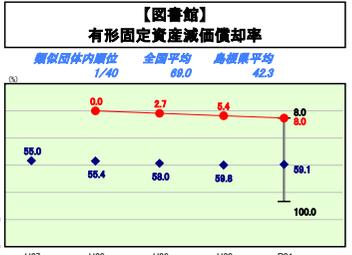
令和元年度

島根県飯南町

人口	4,800	人(R2.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	4,760	人(R2.1.1現在)	連続実質赤字比率	-	%
面積	242.88	km ²	実質公債費比率	11.3	%
歳入総額	8,518,347	千円	将来負担比率	54.9	%
歳出総額	8,389,336	千円	市町村類型	H27 II-O H28 II-O H29 II-O	
実収支	74,670	千円	(年度毎)	H30 II-O R01 II-O	
標準財政規模	4,115,058	千円			
地方債償還高	10,544,572	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答があった団体に関するもの。



施設情報の分析

- 有形固定資産減価償却率
 - …すべての項目で上昇(老朽化)していますが、一般廃棄物処理施設と保健センターを除いて、類似団体平均を下回っています。図書館の償却率については、平成28年度に旧生涯学習センター(解体済み)から頓原拠点複合施設(交流センターとんぼら)内に移設したことから類似団体平均と比較して指標が低くなっています。庁舎の償却率については、平成28年度に新庁舎の建設が完了したため指標が大きく改善しています。
 - 一人当たりの面積
 - …図書館において、令和2年度に米島拠点複合施設(米島交流センター)内に新たな図書館を設置したことから、来公表する令和2年度の一人当たりの面積は増加する見込みです。保健センターの面積が類似団体と比較して大きくなっていますが、基幹支所としての機能や町民の健康増進・介護予防活動、健診会場での利用など、住民利用の機会も多くなる施設であるため、適切な規模であると考えています。